

徳病総第 974 号
令和7年10月3日

徳島県知事 殿

徳島県小松島市小松島町字井利ノ口103番
申請者 徳島赤十字病院
院長 後藤 哲也

徳島赤十字病院の地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和6年度の業務に関して別添のとおり報告
します。

項目 1 : 基本情報

① 医療機関コード（医科 / 歯科）

医科	0310157
歯科*	

*歯科の医療機関コードが割り振られている場合のみ

② 開設者*

住所**	東京都港区芝大門一丁目 1 番 3 号
氏名	日本赤十字社

*開設者とは、医療機関の開設・設営の責任主体であり、原則として営利を目的としない法人又は医師である個人であるものをいいます。

**開設者が法人である場合は「住所」には法人事務所の所在地、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

③ 病院情報

病院名	徳島赤十字病院	
管理者 役職・氏名	院長 後藤 哲也	
郵便番号 (半角11桁なし)	7738502	
所在地 1 (自動入力)	徳島県小松島市小松島町字井利ノ口103番	
所在地 2		
電話番号	0885-32-2555	

一般病床数	405
療養病床数	
感染症病床数	
精神病床数	
結核病床数	
合計病床数	405

④ 地域医療支援病院の承認年月日

年月日	平成13年10月1日
-----	------------

項目 2： 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

① 紹介率・逆紹介率

紹介率	
紹介患者数 . . . (1) *	10,691
初診患者数 . . . (2) **	12,019
紹介率 . . . (1) ÷ (2)	88.95%
逆紹介率	
逆紹介患者数 . . . (3) ***	17,784
逆紹介率 . . . (3) ÷ (2)	147.97%

* (1) 開設者と直接関係のない他の病院又は診療所から紹介状により紹介された者の数（初診の患者に限る）。以下を含む：電話情報により自院の医師が紹介状に転記した患者、紹介状または検査票のある、精密検診のための受診

** (2) 医学的に初診といわれる診療行為があった患者数（以下を除く：救急患者数、休日又は夜間に受診した患者、自院の健康診断で疾患が発見された患者）

*** (3) 診療に基づき他の機関での診療の必要性等を認め、患者に説明し、その同意を得て当該機関に対して、診療状況を示す文書を添えて紹介を行った患者（開設者と直接関係のある他の機関に紹介した患者を除く）。

項目3： 共同利用の実績

① 利用医師等登録制度の実施にあたる担当者の役職

役職	地域医療連携課長
----	----------

② 登録医療機関数

登録医療機関数	23
上記のうち、 開設者と直接関係のない*医療機関の数	23

*「開設者と直接関係がない」とは、開設者や代表者が同一である場合、または親族である場合、理事などの役員の3/10が親族が占めている場合、またはそれに準じて重要な影響を与えている医療機関ではないものをいいます。

③ 共同利用状況

共同利用にかかる病床	
共同利用にかかる病床数	30
共同利用にかかる病床の病床利用率*	92.9

*共同病床利用率（小数点第1位まで）

共同利用病床を共同利用にて使用した患者の年間患者延数

$$\frac{\text{（月間日数} \times \text{月末病床数）の1} \sim \text{12月の合計}}{\text{}} \times 100$$

共同利用を実施している医療機器*	
☒	CT
☒	MRI
☒	PET
☒	放射線治療機器（リニアック・ガンマナイフ）
☒	マンモグラフィ
☒	その他
▼「その他」を選択した場合は入力してください。	
骨密度定量、核医学	

*出典：外来医療に係る医療提供体制の確保に関するガイドライン～第8次（前期）～

▼共同利用している施設（建物）等
別紙のとおり

共同利用を行った医療機関の延べ数	1,247
------------------	-------

項目 4 : 救急医療の提供の実績

① 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	4,894
上記以外の救急患者の数	8,711

*:地方公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬送された患者の数(救急患者の数)

② 重症救急患者のための病床の確保状況

優先使用の病床数	ICU 12床
専用病床数	救命救急センター 20床

③ 重症救急患者に必要な検査・治療に必要な診療施設の概要

別紙のとおり

④ 通常の当直体制以外に重症救急患者の受入れに対応できる体制の確保状況

体制の確保		あり	
▼「あり」を選択した場合は入力してください。			
		常勤	非常勤
医師数		140	
	うち専従数	8	
看護師数（准看護師含む）		117	
	うち専従数	117	
薬剤師数		26	
	うち専従数		
診療放射線技師数		28	
	うち専従数		
臨床検査技師数		35	
	うち専従数		
臨床工学技士数		21	
	うち専従数		
上記以外の従事者数		3	

項目 5 : 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

① 教育責任者の役職名

役職	副院長
----	-----

② 研修委員会

研修委員会の設置	なし
「あり」の場合 その名称を入力	

③ 研修について

研修プログラムの有無	あり
研修会開催回数*	13
研修会のうち医師以外の医療従事者を対象にしたものの回数	5
研修会参加延べ人数	(院内) 239人 (院外) 689人
症例検討会の開催回数	8
医学・医療に関する講習会の開催回数	
▼主な研修概要	
徳島臨床カンファランス 徳島赤十字病院救急勉強会 臨床病理検討会（C P C） 徳島赤十字病院地域医療連携懇談会	
▼主な研修施設概要	
県内全域の連携医療機関600余りの医療機関並びに薬剤師会、歯科医師会、各救急隊に案内し参加を募っている。WEB開催もあり、参加施設数も多い。 医師・看護師・薬剤師・理学療法士・MSW・事務等多職種の参加。	

*：研修会開催回数は、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものに限る

項目 6： 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

① 管理責任者及び担当者の役職名

責任者の役職	副院長
担当者の役職	総務課長

② 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

▼診療に関する諸記録の管理方法
診察記事、退院時要約、手術記録等は電子カルテシステムにてデジタル情報として保管する。一方、病院日誌、診療日誌（医師当番日誌）、処方箋等の紙記録は所管する部署にて、キャビネット等で施錠管理する。
▼病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法
所管する部署にて年度別に分けキャビネット等で施錠管理する。なお、共同利用の実績は地域医療連携課及び放射線科部で保管、救急医療提供の実績は救急課で保管、紹介患者の実績は地域医療連携課で保管する。

項目 7 : 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

① 閲覧責任者及び担当者の役職名

責任者の役職	事務部長
担当者の役職	総務課長

② 主な閲覧方法

閲覧方法	申込書記載のうえ、カルテ内容は電子カルテにて、開示対象の公用文書は来院して直接閲覧するか、PDFデータの提供による。
------	--

③ 閲覧件数・概要

件数	0件
▼閲覧者別件数	
医師	0件
歯科医師	0件
地方公共団体	0件
その他	0件

項目 8 : 医療法施行規則第 9 条の19第 1 項第 1 号に規定する委員会の開催の実績

① 委員会について

委員長の所属・役職		徳島赤十字病院 院長	
委員数		17	
	院外の委員数	10	
総開催回数		令和6年度 2回	
▼概要			
地域医療連携懇談会			

項目9： 患者相談の実績

① 主として患者相談を行った者の役職（複数回答可）

役職	看護師、医療ソーシャルワーカー
----	-----------------

② 患者相談について

患者相談を行う場所	患者相談窓口、相談室、病棟(病室・説明室) がん相談支援センター
総相談件数	9,518

項目10： 病院機能に対する第三者評価の実績

病院機能について 第三者による評価を受けているか	はい
▼「はい」の場合、どのような評価を受けているか	
日本医療機能評価機構3rdG:Ver2.0、卒後臨床研修評価機構	

項目11： 退院調整部門

退院調整部門の設置の有無	はい
--------------	----

項目12： 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無	はい
▼「はい」の場合、情報発信・内容等の概要	
ホームページ、広報誌、SNSで、医療機関の連携や役割分担、紹介患者への医療提供や設備の共同利用、医療従事者の研修等、地域医療機関を支援する機能を発信	

項目13： 地域連携を促進するための取組み

地域連携クリティカルパスの策定の有無	はい
▼「はい」の場合、その内容や運用方法の概要	
①大腿骨頸部骨折 ②脳卒中 ③肺がん ④胃がん ⑤大腸がん ①②は、当院から転院先(回復期)から維持期の施設へと繋げる。 ③④⑤は、当院からかかりつけ医へ繋げ、パスのスケジュールや患者の容態により、適宜当院の診療を行う。	

項目14： その他の特記事項

--

共同利用の施設内容

病 院 名	徳島赤十字病院	
設置場所	徳島県小松島市小松島町字井利ノ口103番	
敷地面積	30,088.42㎡	
延床面積	51,168.24㎡	
病 床 数	405床（一般405床）	
診療科目	内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、精神科、腎臓内科、呼吸器内科、消化器内科、脳神経内科、循環器内科、小児科、外科、乳腺外科、呼吸器外科、消化器外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、麻酔科、救急科	
施設内容		
病院棟	鉄骨鉄筋コンクリート造地上9階建 29,341.80㎡	
1階	(薬 剤 部 門)調剤室、製剤室(無菌製剤室含む)、医薬品情報管理室、薬品庫 (その他の部門)人工透析室、CAPD室、中央材料室(SPD)、医療社会事業部(患者相談窓口)、がん相談支援センター、入退院支援室、移植コーディネーター、患者図書室「はなみずき」、剖検室・家族控室、警備室	
2階	(外来診療部門)救急外来(緊急処置室、救急処置室)、外来化学療法室、言語聴覚療法室 (検 査 部 門)検体検査室、生理機能検査室、病理検査室 (放 射 線 部 門)撮影室、CT室、MRI室、エコー室、読影室 (その他の部門)入院総合受付、医師当直室、入院サポートセンター	
3階	(入院診療部門)ICU12床、救命救急センター20床 (その他の部門)手術室、医師当直室	
4階	(その他の部門)管理部門、医局、図書室、医療情報課、診療情報管理室、栄養課、会議室、厨房	
5階	(入院診療部門)病室81床(北42床・南39床、未熟児2床含む、主として整形外科、産婦人科、形成外科、皮膚科、麻酔科、救急科)内、開放病床7床(北4床、南3床)、分娩室、新生児室、病棟薬局	
6階	(入院診療部門)病室84床(北42床・南42床、主として循環器内科、心臓血管外科、耳鼻咽喉科)内、開放病床9床(北5床、南4床)、病棟薬局	
7階	(入院診療部門)病室84床(北42床・南42床、主として外科(消化器外科、呼吸器外科、乳腺外科)、脳神経科、泌尿器科)内、開放病床7床(北4床、南3床)、病棟薬局	

		8階	(入院診療部門)病室82床(北41床・南41床、無菌病室17床含む、主として血液内科、糖尿病・内分泌内科、総合内科、腎臓内科、小児科、小児外科、眼科) 内、開放病床7床(北3床、南4床)、病棟薬局
		9階	(その他の部門)介護浴室、備蓄倉庫、屋上庭園、自販機コーナー
		RF	(その他の部門)ヘリポート
	外来棟	鉄筋コンクリート造地上4階建 5, 885. 94㎡	
	1階	(その他の部門)エントランスホール、EVホール、レストラン、コンビニ、キャッシュコーナー、院外薬局	
	2階	(外来診療部門)総合内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、消化器内科、消化器外科、呼吸器外科、循環器内科、心臓血管外科、小児科、整形外科、脳神経内科、脳神経外科、乳腺外科、腎臓内科、小児外科、中央処置室、外来総合受付、地域医療連携課 (薬 剤 部 門)院外処方箋コーナー (検 査 部 門)検体検査室、生理機能検査室他 (放 射 線 部 門)一般撮影室	
	3階	(外来診療部門)眼科、耳鼻咽喉科、形成外科、皮膚科、産婦人科、泌尿器科、精神科(休診) (その他の部門)臨床研究管理センター、治験管理室他	
	4階	(その他の部門)EVホール	
	西棟	鉄骨造地上6階建 13, 014. 29㎡	
	1階	(放 射 線 部 門)放射線治療室(リニアック) (外来診療部門)感染外来 (その他の部門)リネン室、洗濯室	
	2階	(放 射 線 部 門)PET、シンチ室 (診 療 部 門)リハビリテーション室 (その他の部門)医療業務課(入院部門)、医師事務支援課、西棟受付、健康管理センター	
	3階	(外来診療部門)日帰り手術センター、内視鏡センター (放 射 線 部 門)アンギオセンター	
	4階	(その他の部門)医療安全推進室、院内感染対策室、研修医医局、スキルスラボ、会議室、仮眠室、スタッフラウンジ、地域住民の一時避難スペース	
	5階	(入院診療部門)病室42床(主として消化器内科、放射線科)	
	RF	(その他の部門)地域住民の一時避難スペース	

重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救急外来（ER）	712.51㎡	（主な設備） 超音波診断装置、システム生物顕微鏡、人工呼吸器、救急カート、救急用ストレッチャー、ベンチレーター、除細動器他	可
I C U	578.3㎡	（主な設備） 高規格人工呼吸器、ECMO、人工呼吸器、IABP、新生児小児治療システム、新生児人工呼吸器、超音波診断装置、ベッドサイドモニター他	可
救命救急センター	669.6㎡	（主な設備） 人工呼吸器、超音波診断装置、ベッドサイドモニター、輸液ポンプ他	可
手術室（12室）	1537.87㎡	ベンチレーター付全身麻酔器、多現象監視装置、自己血回収システム、人工心肺装置、PCPS、超音波診断装置、ナビゲーションシステム、ダヴィンチXi他	可

備考

「断らない医療」を理念に掲げ、24時間365日救急患者を受け入れている。

救急診療かかる変遷

平成21年6月 高度救命救急センターに指定。
平成24年9月 救急医療功労者県知事表彰受賞。
平成25年8月 救急医療功労者厚生労働大臣表彰受賞。
平成27年4月 ドクターカーの運用開始
平成28年6月 ラピッドレスポンスカーの運行開始